文芸祭奨励賞受賞作品

小説

『もう、小説書きたくない。宮沢賢治と言わないで!』

作品を送ったあと、しばらくこんな状態が続いておりました。

しかし、受賞を知らせる電話が来た時、今までの苦労が報われた気がしました。支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。

「続・やまなし」はこれで終わります。

しかし、また、別の物が頭の中でモソモソと動き始めているようです。それがいつ、形になるかわかりませんが、できたら［文芸にいつ］に載せたいと思っております。

※文芸にいつ掲載の「受賞者寸感」から抜粋

続・やまなし（冬の章　その2・最終章）

佐山洋子（車場4）

※この物語は、宮沢賢治著「やまなし」をもとにしたオリジナル作品です。

これは小さな谷川の底を写した、ある別のげん燈です。

二月

空はあいかわらず分厚い灰色の雲におおわれており、そこから綿ぼこりのような雪が、ゆっくりと、地上めがけて降りていきます。

地上はそんなに雪がたくさん地面に降り積もり、葉を落とした木々の枝にも、まるでわたあめのような雪のかたまりが、しろいはなを咲かせているかのようにつもっています。

しかし、谷川の景色は相変わらず。まわりの景色はうす暗く、流れも止まっているかのよう。

「おてんとうさま、雲のベットでまだ、お休みをしているのかな?」

「いったい、いつ、顔を出してくれるのかなあ」

谷川の底にいる蟹の子どもらがつぶやくほど、毎日毎日、同じ景色が繰り返されているのです。

「お父さん、いったい、いつになったらおてんとうさまは出てくるの?」

ある日の午後、いつものように穴の入口ではさみをだらんと下げながら天井の世界を見ていた弟の蟹が、いつまでたっても変わらぬ景色にうんざりした口ぶりで、穴の奥、はさみを組み、考え事をしているお父さんの蟹に聞きました。

『やまなしの実がなくなる頃、さすがのおてんとうさまも顔を出すよ』

って、お父さんはいったけど、やまなしの実はとうになくなってしまったよ。本当に冬は終わるの?」

弟の蟹と同じく、穴の入り口で天井の世界をながめていた兄さんの蟹も、弟の蟹の言い分はもっともだといいたげな口ぶりで、お父さんの蟹にいいました。

「確かに、今年はおてんとうさまが顔を出すのが遅い。いつもなら、そろそろ顔を出すはずなんだが……。

もしかしたら、おてんとうさま、雲さんのベットがあまりにも気持ちがいいものだから『このままず～っと寝ていたい』

なんて、思っているのかもしれないなあ」

お父さんの蟹も、子どもらの言い分にもっともだというような顔つきで穴の奥から答えたあと、ほう……とため息をつきました。

「あ～あ、『このままず～っと寝ていたい』だなんて……」

「おてんとうさま、ひどいよ……」

「おいおい、いくらおてんとうさまの出るのが遅いといったって、そんなに嘆くことはないだろう」

「だって、おてんとうさまが早く見たいんだもん」

『おてんとうさまは時々、雲のそばにやって来て、話し相手になりながら、天井の世界をながめている』

って、前にお父さんがいったけど、おてんとうさま、雲さんの間からながめているようには見えないよ」

「おてんとうさまにはおてんとうさまの都合があるんだ。無理をいってもしようがない」

「でも……」

「よしよし、お前たちの言い分はようくわかった。そこでだ……」

お父さんの蟹は、なにか考えることがあったのでしょう。

（以下、略）

※文芸祭作品集「文芸にいつ第二十一号」（千円）は、中央公民館で頒布しています。

お買物、ご用命は市内で

日本料理
横浜亭をよろしく
本町2　☎22-2225

子どもたちを守ります
三種混合（二種混合）予防接種

三種混合（二種混合）予防接種日程

接種日 1回目	2回目	3回目	会場	対象地区
3／4（火）	4月旬の予定	5月旬の予定	保健福祉センター	本町、日宝町、新町、金沢町 東町、新金沢町、柄目木 飯柳、山谷町、南町
3／5（水）				北上、北上新田、さつき野町 下興野町、善道町、美幸町 天神、古田、新柴町 金津地区全域
3／6（水）			荻川地区ふれあいセンター	荻川地区全域
3／7（金）			保健福祉センター	秋葉、中沢町、田家、吉岡町 緑町、滝谷町、滝谷本町 草水町、東金沢、上金沢 大安寺、中新田、満願寺 七日町、大蔵、小合地区全域 新関地区全域

・受付時間は、午後1時20分から2時30分までです。
・母子手帳と体温計をお持ちください。
・会場では接種前の検温と診察のため、お待ちいただくことがあります。また、診察のしやすい服を着せてください。
・2回目と3回目の接種日は、広報4月1日号と一緒に配布される平成9年度各種予防接種実施計画をご覧ください。

・三種混合予防接種は、百日ぜきとジフテリア、破傷風の三つの病気を予防します。二種混合予防接種は、すでに百日ぜきにかかったことのある幼児や児童が対象で、ジフテリアと破傷風の二つの病気を予防します。

◇対象年齢　満一歳六か月以上七歳六か月未満の幼児や児童

◇接種方法

・一期初回…三週間以上の間隔で、三種混合は三回、二種混合は二回受けてください。接種間隔が開いた場合も、やり直しをしないで規定の回数を受けてください。

・一期追加…一期初回の三回目を終えてから、一年から一年六か月後に一回受けてください。

一期初回から一年六か月を過ぎた場合も対象となります。

◇ご注意　二種混合予防接種を受ける方は、受付で必ず「二種混合」と申し出てください。

◇問い合わせ　保健課予防係（内線136）へ。

児童手当、特別障害者手当などを振り込み

児童手当・特例給付（四か月分）を二月五日（水）に、特別障害者手当、障害児福祉手当、福祉手当（三か月分）を二月十日（月）に、それぞれ受給者の皆さんの口座に振り込みました。入金をお確かめください。

◇問い合わせ

・児童手当…社会福祉事務所児童福祉係（内線240）へ。

・特別障害者手当など…社会福祉事務所障害福祉係（内線234）へ。

子どもたちに健康な歯を⑥

ピカピカよい歯のセミナーに参加しませんか

乳歯は生後6か月ころから生え始め、1歳前後には前歯が生えそろってきます。乳歯を使う期間は短いのですが、その間に乳歯が果たす役割は大変重要です。「物をかむ」という歯本来の役割はもちろんですが、「永久歯が正しく生えるための案内役」というとても大切な役割もあります。

乳歯のエナメル質は薄くて軟らかいので、いったんむし歯になると、驚くほど早くむし歯が進行します。乳歯が1本でも生えたらむし歯予防を心がけましょう。

食べ物はだらだらと食べさせず、3時間以上は時間をあけて食べさせるようにし、食事が終わったら、水やお茶を飲ませて口の中をきれいにしておきましょう。乳歯も歯みがきは大切です。1日1回はお母さんが仕上げみがきをしてください。そのときお子さんにも歯ブラシを持たせて、歌を歌ったりして楽しく慣らしてあげましょう。

市では、10か月から12か月のお子さんを対象に、「ピカピカよい歯のセミナー（1歳児むし歯予防教室）」を開催しています。セミナーに参加したお母さんからは、「仕上げ磨きの方法が分かった」などの感想も聞いています。対象の方には個人通知をしていますので、ぜひご参加ください。

お買物、ご用命は市内で

旧市役所前の靴のイザワ
靴なら何でも揃うイザワ
＊あるく楽しさをお届けする＊
TEL 22-0625

耳鼻咽喉科　坂爪医院
〈診療時間〉
平日　午前7:30～12:00　午後3:00～6:00
木曜　午前休診　午後3:00～6:00
土曜　午前7:30～12:00
日曜・祭日・第1・3土曜日休診
新津駅前通　TEL(24)5588
新津駅　自転車駐車場　坂爪耳鼻科